

# 数字で振り返る27年度就労支援の実績

## ■障がいのある人の就職に向けた支援



### 障がいのある人の就労支援

256 件

就労担当が「就職」に向けた支援を実施しました。  
(例)相談、事業所の見学、企業見学、職場実習など

13

名

就労移行支援事業所など  
障がい者事業所の利用者に対して  
施設職員と一緒に支援

就労支援による就職者

### 【就職者の職種】

6 名

- ・メール便仕分け、配送業務（2社）
- ・ペイントマーカー再生
- ・介護補助、清掃業務
- ・新車、中古車販売店舗の洗車、清掃
- ・保育園内の清掃業務

## ■障がいのある人の定着に向けた相談・支援

22 名

（3月末時点）

企業などで働いている障がいのある人の  
定着に向けた就労相談・支援を実施。  
職場訪問して障がいのある人や企業担当者と  
面談したり仕事の様子を見たり…。

## 高浜市社会福祉協議会が運営する中央保育園 で障がい者雇用に取り組みました。

なぜ、高浜市社会福祉協議会が障がい者雇用に取り組んでいるのか？もちろん「障害者雇用促進法」に定められている障害者雇用率を達成するという目的もありますが、それよりも社協が運営する事業所で障がい者を雇用することが、だれもが住みなれた高浜で安心して暮らしていけるまちづくりの推進につながると考えているからです。

たかはま障がい者支援センターは、高浜市社会福祉協議会のひとつの事業所として、高浜市社会福祉協議会の障がい者雇用を推進しています。

### 高浜市社会福祉協議会

#### 地域福祉の推進

#### たかはま障がい者 支援センター

#### 障がい者の 地域生活支援

#### ■地域福祉の推進

高齢者、障がい者、こどもを始めとするすべての人が、住み慣れた高浜で安心して暮らしていけるまちづくりの推進。

#### ■障がい者の地域生活支援

「働く」と「暮らす」を一体的に支援することで、障がいのある人「働く」を通して安心して生活できるまちづくりの推進。

高浜市社会福祉協議会は、中央保育園だけでなく、こどもから高齢者にいたる福祉サービスを提供する事業所において、障がい者を直接雇用する取組みを進めていきます。障がい者が働きやすい職場は、誰もが働きやすい職場であると同時に、地域共生社会づくりにもつながります。私たち社会福祉協議会がそのモデルとなるよう努めてまいります。

## 【中央保育園での障がい者雇用の進め方】

障がいのある人と保育園が、お互いのことを理解するため、雇用（就職）の不安を解消するために、たかはま障がい者支援センターの就労支援担当が中央保育園の担当者と一緒にいいステップを踏みました。



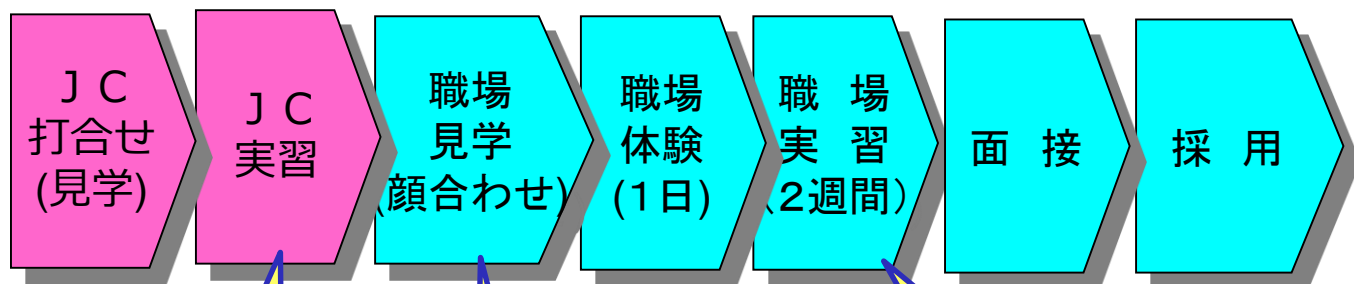
各ステップの具体的な実践について、事例を通じて全3回シリーズにてご紹介します。

第1回：現場担当者との打合せ

第2回：ジョブコーチ職場実習

第3回：1日職場体験・雇用前の職場実習

※JC;ジョブコーチ  
(たかはま障がい者支援センター就労担当)



ジョブコーチがまず職場で働いて、職場の仕事内容、職場環境を調べる。

職場見学を兼ねて、障がいのある人が職場の担当者と顔合わせをする。

●職場の担当者  
本人の雰囲気や印象が分かる。

■障がいのある人  
職場の仕事内容、一緒に働く人や職場の雰囲気が分かる。

雇用前に、2週間(10日間)実習を行い職場に適しているかを見極める。

●職場の担当者  
本人が本当に職場の仕事ができるか、適しているかが分かる。

■障がいのある人  
仕事内容、職場環境が自分に合っているかが分かる。

# 1. 現場担当者との打合せ

J C  
打合せ  
(見学)

職員向け  
研修会

## (1) たかはま障がい者支援センターとの打合せ、見学

保育園での障がい者雇用を進めていく過程において、まず、最初に保育園で障がい者を雇用する理念・意義について、たかはま障がい者支援センター就労担当が保育園を訪問し、園長先生と打合せを行いました。

- ①障がいのある人と一緒に働くことは、よりよい保育につながる  
→保育士のこどもをみるスキルが高くなる。
- ②障がいのある人と一緒に働くことで、保育士が働きやすい環境になる  
→障がいのある人が働きやすい環境は、分かりやすい工夫をしている。
- ③保育園全体として保育の質を上げることができる。  
→保育の合間に行っている業務を、障がいのある人が担当することにより、保育士が保育業務に専念することができる。

## (2) 子育て支援部門職員向け研修会

### 【職員向け研修会】

社協が運営する中央保育園、高浜南部保育園と子育て支援部門すべての保育士に、保育園で障がい者雇用をする意義と障がいのある人と働くイメージを持ってもらうため、職員向けに研修会を実施することになりました。



実際に保育園で働いている障がいのある人の事例を通じて、同じ働く仲間として働きやすい環境を考えたり、孤独感を感じさせないこと、職場に居場所（役割）があることを伝える等の関わり方のポイントについて、伝えました。

また、職場の担当者と一緒に働きやすい環境をつくっていくために、ジョブコーチの役割を伝えて、ジョブコーチの活用をオススメしました。

現場の保育士に加えて、子育て支援に携わっている事業所職員も参加。

次号  
ジョブコーチの職場実習に続く…